

初冬―曇天

先月半ば、台風並みに発達した低気圧の通過後、大陸からの寒気が南下し出勤時に手稲山のひだに白い筋を見ることができた。翌日、霰あられの米襲あられで冬の入りを俄はちかに感じた。ほぼ同時に日銀は我が国の景況を「部に弱さが見られる」と発表し、景気動向も冬の陰りを見せ始め、市場は警戒感を露あわに示した。米国経済も金利マージンの低下など不透明性が懸念され、どうやら雲行きも怪しい兆候となっている。▼ドイツの自動車メーカーの不正問題やシリア難民など、悩みの多い欧州経済はほぼ常態化しつつあり、グローバル経済の寒さは増すばかり。曇天の雲間に差す一筋の光はラケビー日本代表の五郎丸選手のベナルティゴールキック。祈っているのか、精神の集中なのは知る由もないが、今や日本人ならこのポーズは誰でも知っている。ただ我らの真似ポーズはどうやら神頼みといえそう。▼来年度予算編成作業を始める時期となった。市税は堅調な推移を予想しえるものの、地方交付税などの雲行きはかなり厳しい。与党税調の声ひとつで寒さも身に凍しみることになる。石狩市の財政は民間投資だけで数千億円が見込まれ、また幾つかの地方創生に應える事業を起し、市民の強力な参加をいたたいでもなお、暗れ間を見出すには一層の努力を求められるのが現実だ。――この日の夜半、凍こ凍こてつくような風が窓を叩いていた。ただ※「冬日之閉凍也不固、則春夏之長草木也不茂」(韓非子)の一節でやっと眠りについた。(市長)

※冬に十分寒くならないと、春や夏になつて草木が茂ることはない。

広告